

IDTECH[®]

Value through Innovation



VersaScan II[™]

バーコードスキャナ

ユーザマニュアル



FCC 警告文

本装置は、FCC Part 15 Class B デジタル装置の規格テストに合格しています。これは、本装置が商業施設の中で稼働した際の有害な干渉を可能な限り防ぐための規制です。本装置は、無線周波数エネルギーを生成、使用、放射し、本取り扱い説明書に従って設置しない場合、無線通信に有害な干渉を生じる恐れがあります。

FCC 準拠ステートメント

本装置は、FCC Part 15 規格に準拠しています。本装置は、以下の条件で稼働するかぎり、有害な干渉を生じず、また、目的外の動作を生じうる干渉も受容します。

CANADIAN DOC ステートメント

本デジタル装置は、カナダ通信省の規定する無線干渉規則 Class B 規制を超えた無線ノイズを発生しません。

Le présent appareil numérique n'émet pas de bruits radioélectriques dépassant les limites applicables aux appareils numériques de la classe B prescrites dans le Règlement sur le brouillage radioélectrique édicté par les ministères des Communications du Canada.

CE スタンダード

CE 要件に準拠するためのテストは、外部独立機関によって行われました。テストされた製品は、FCC Part 15 Class B 規制に準拠しています。

保証内容

IID TECH は、直接購入者に対し、送り状記載日から 36 ヶ月間、本製品が正常に稼働し、通常使用において、装置内部および外装ともに瑕疵が無いことを保証します。本保証に関しての弊社の義務は、保証期間内に送料、保険料前払いで出荷元工場に戻され、弊社の規準による調査により瑕疵が明らかになった製品の交換、修理、または返済のいずれかに限定されます。いかなる製品や装置の取外しや再設置に要する費用は、本保証には含まれません。いかなる個人および法人も、製品販売時に、上記以上の保証責任を付加する権限を有しません。瑕疵が保証範囲内であっても、装置製品の瑕疵に依り購入者または第三者に生じた特別な損害に関して、その軽重を問わず責任を追うものではありません。購入者の受けられる瑕疵製品への保証は、販売条件にかかわらず、弊社による交換または修理のみです。保証期間中の保証サービスに関しては、Return Material Authorization (RMA) 番号と、製品返品方法をお問い合わせください。本保証は、他のいかなる商業上または特定目的の責任に代わって適用されます。本規定に記載以外のいかなる明示的または黙示的保証はいたしません。本製品は現状有姿で販売されます。弊社は、いかなる場合も、製品の正規使用または誤使用、契約条件に準じない販売、組立てにより生じた、直接、近接、予見可能、重大または特別な損害にかかわる費用に関して、明示的または黙示的な、注意義務違反の責を負うものではありません。

本書に記載の情報は、ユーザの便宜のために提供されます。情報の正確性について万全の注意を払っておりますが、本書の誤記や記載漏れによって生じた、利益損失やいかなる商業的損害、または使用により生じた法令違反、第三者の特許またはその他の権利の侵害にも責任を負うものではありません。本書に記載された仕様は作成時のものであり、予告無しに変更されることがあります。

©2009 International Technologies & Systems Corporation 本書に記載の情報は、ユーザの便宜のために提供されます。情報の正確性について万全の注意を払っておりますが、本書の誤記や記載漏れによって生じた、利益損失やいかなる商業的損害に責任を負うものではありません。本書に記載された仕様は作成時のものであり、予告無しに変更されることがあります。

IID TECH は、International Technologies & Systems Corporation の登録商標です。VersaScan II および Value through Innovation は、International Technologies & Systems Corporation の商標です。

目次

全般

目次	1
はじめに、簡単なトラブルシューティング	2-3
クローニングモード	4-5
スキャナとターミナルの接続	6-7
ケーブルの変更	7
パラメータの設定	8

設定グループ (グループ 1 ~ 14)

1. インターフェース選択、コンピュータタイプ、デフォルト	9
2. 読取モード	10-12
3. チェックバージョン、ピープ音、ターミネータ	13
4. セットアップコード、プリアンブル、ポストアンブル	14
5. 正確性調整	15
6. Code ID	16
7. シンボロジーコード識別子	17
8 ~ 9. Code ID の設定、カスタマー設定	18-19
10. ブロックとキャラクタ間のディレイ	20
11. キーボードレイアウト、Caplock モード、数字キー	21
12. RS232: Baud rate, Data bits, Parity	22
13. RS232: Stop bit, Handshaking, ACK/NAK, Flow Control, BCC	23
14. ワンドエミュレーション、パラメータ設定	24

シンボロジーのフォーマット (グループ 15 ~ 33)

15 ~ 16. バーコードシンボロジーのイネーブル/ディセーブル	26-27
17. China postcode(Toshiba code)	28
18. MSI code, UK Plessey code	30
19. Code93, Telepen, IATA	32
20. Interleaved 2 of 5, Code 11	34
21. Industrial 2 of 5, Matrix 2 of 5	36
22. Codabar	38
23. ABC Codabar, CX-Codabar	40
24. Codabar Coupling	41
25. Code 39 (フル ASCII / 標準), Code 32	42
26. UPC-E	44
27. UPC-E(0)&(1), UPC-E 拡張	45
28. UPC-A	46
29. EAN-8	47
30. EAN-13, ISSN, ISBN	48
31. EAN/UCC 128, CODE 128	49
32. DataBar(RSS) 限定、拡張	50-51
33. PDF417、アイドルモード設定	52

フル ASCII (CODE 39) 表、ファンクションキー表 (グループ 34 ~ 48)

34 ~ 41. フル ASCII (CODE 39) 表	53-60
42 ~ 45. PC-AT 用ファンクションコード表 (CODE 39)	61-64
46 ~ 48. トラブルシューティング	65-67

APPENDIX

APPENDIX 1 デフォルト表	68-70
APPENDIX 2 ケーブルピンアサインメント	71-72
APPENDIX 3 バーコードテストチャート	73-74
APPENDIX 4 特殊設定コード	75
APPENDIX 5 PDF417 デモチャート	76

はじめに

本スキャナは、VersaScanII イージープログラミングデコーダに対応します。ハイエンドのバーコード読取性能を、低価格で提供できるよう設計されています。本スキャナは、高性能なデコード技術を利用しています。本書に記載のスキャン設定バーコードをスキャンすることにより、簡単に一回で設定が可能です。本バーコードスキャナは、可動部を持たない CCD（光学ダイオード技術）を使用しているため、耐久性があり、各種の過酷な環境条件に適応します。さらに、スキャナの LED イルミネーション光源のビームは、人間の目への害も少なく、製品寿命も長くなります。

VersaScanII デコーダは、主にロングレンジバーコードスキャナとして使用されます。

注記：（製品番号の詳細は、取扱会社にお問い合わせください）

概要

本スキャナは、各種の利用条件に対応する多くの設定が可能です。しかし、通常の利用目的では、工場出荷時のデフォルト設定で使用できます。スキャナのパフォーマンスの特性を変更する特別な必要がないかぎり、デフォルト設定を変更しないことをお勧めします。

簡単なトラブルシューティング

本スキャナは、簡単に設置し使用できます。発生する問題のほとんどは、スキャナにプログラムされる設定の誤りによるものです。トラブルシューティングを行う前に、下記を試してください。

1. ホストコンピュータからケーブルを抜きます。
2. ホストコンピュータにケーブルを再度挿します。
3. スキャナ設定を DEFAULT(Group 1) にリセットします。

. A001\$



上記を行っても問題が解決しない場合、次ページのトラブルシューティング表を参照してください。以上で問題が解決しない場合、64～66ページのトラブルシューティングの項目を参照してください。

表2

No.	トラブルの種類	症状	対処方法
1	コンピュータタイプ (グループ1)	スキヤナは正常に動作しているようにみえるが、データが出力されない。	1. ホストコンピュータからケーブルを抜く 2. ホストコンピュータに再度ケーブルを挿す 3. スキヤナを正しいコンピュータタイプに直ちに設定する
2	インターフェースの選択(グループ1) (グループ1)	トリガが押し下げされていると、スキヤンされない。	1. ホストコンピュータからケーブルを抜く 2. ホストコンピュータに再度ケーブルを挿す 3. スキヤナを正しいインターフェースに設定する。インターフェースに適したケーブルを使用する
3	設定手順が完了しない (設定に三重のスキヤンが必要) グループ - 4, 5, 8, 9, 17, 18, 19, 20, 22, 23, 25, 31	スキヤナはデータを出力せず、スキヤン毎に3回ビープ音を鳴らす。本症状は、三重スキヤン設定が完了していないことを示す。設定によってはスキヤンを3回行う必要がある。 以下のような場合： 1. Preamble, Postamble (グループ4)(14ページ) 2. Accuracy Adjustment (グループ5)(15ページ) 3. Customer ID Configuration (グループ8 & 9)(18-19ページ) 4. Min/Max Length (グループ17, 18, 19, 20, 21, 22, 25) 5. ABC Codabar (グループ22 & 23) 6. CX-Codabar (グループ22 & 23) 7. Coupling Codabar (グループ22 & 23) 8. EAN 128 グループ31	1. 適切なページの設定の手順に従う 2. 設定が未了の場合、スキヤンビープ音が3回鳴る 3. RESETをスキヤンし再設定を行う
4	バーコード長の制限	スキヤナは正常に読み取りしているが、特定のバーコードの特定のコード長が読み取れない。	関連のバーコードシンボロジーのMin/Max設定をリセットする
5	RS232Cプロトコル通信設定の問題	スキヤナは、RS-232Cインターフェースで正常に動作しているようにみえるが、データが出力されない。	RS-232C通信パラメタが設定されていることを確認する: Baud Rate, Handshaking, Stop Bits, Data Bits, Parity これらの設定は、スキヤナとホストで同じに設定する。

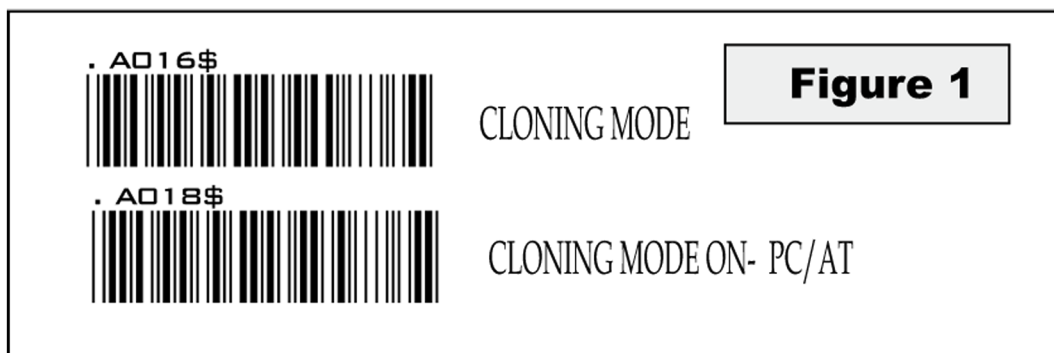
クローニングモード

クローニングモードの機能

「クローニング」はワンドの設定を、他のワンドにコピーします。複数のワンドを同じ設定にする必要がある場合、時間を節約できます。

クローニングモードの動作

1. 本書を使用して、1個のワンドに必要な設定を行います。
2. 下記の CLONIMG MODE バーコードをスキャンします。
3. CLONIMG MODE をスキャンすると、すべての設定パラメータが英数字キャラクタに変換され、モニタに表示されます。
4. バーコードプリンタを使用して、すべての設定パラメータを Code 39 バーコードラベルとしてプリントします。
5. プリントしたラベルを他のワンドでスキャンし、プログラムします。



.A018\$ (PC/AT クローニングモード) - スキャナで選択されているデバイスにかかわらず、PC/AT に設定を複製できません。

注記：

1. クローニング文字列は、すべて大文字です。
2. ラベルにプリントされるクローニング文字列は、モニタの表示と同じ順番にします。
3. クローニングモードは Word Note Pad のみで使用できます。
4. 最初の行 (.A017\$) のデータは編集しないでください。クローニングのエントリゲートとなります。
5. クローニング文字列の長さは、複数の文字列を一つにまとめたり、一つの文字列を複数の文字列に分割して2番目の行 "... " から開始するように調整できます。長さは、4, 8, 12, 16, 20 (最長) などの、4の倍数です。
6. モニタに表示されているドットを正確にプリントします。

クローニングのフォーマット

1 行目 >>> ".A017\$" (1 行目は変更しないこと)

2 行目 >>> "...XXXX" 文字列の長さを "... " ドットで始まるよう調整できます。文字列の長さは、4, 8, 12, 16, 20 (最長) の数となります。

3 行目 ~ >>>XXXX など

最終行 ~ ドット "." がクローニングの最後となります。

XXXX は任意の文字列

例：

1. プロジェクト割当：

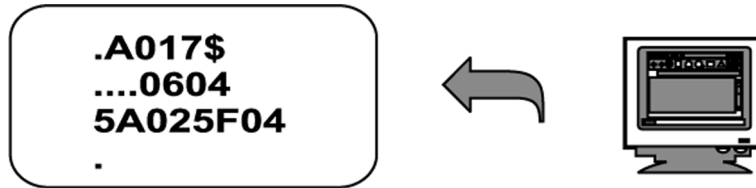
- 1.1 ビープ音：BEEP LOW – HIGH
- 1.2 Capslock モード：CAPSLOCK ON (FIXED)
- 1.3 読取モード：CONTINUOUS AUTO OFF

2. 設定手順：

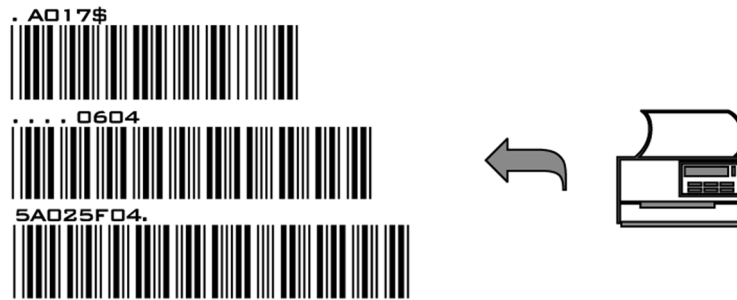
- 2.1 BEEP LOW – HIGH をスキャン（グループ 3）（13 ページ）
- 2.2 CAPSLOCK ON (FIXED) をスキャン（グループ 3）
- 2.3 CONTINUOUS AUTO OFF をスキャン（グループ 2）（12 ページ）

3. CLONING MODE（表 1）をスキャン

すべてのパラメータは英数字キャラクタに変換されてモニタに表示されます。

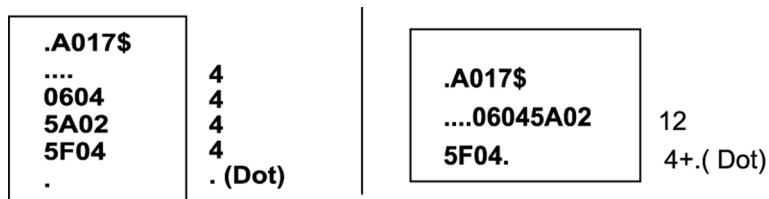


- 4. モニタに表示された結果を、バーコードプリンタを使用してバーコードとしてプリントします。バーコードは、Code 39 シンボロジーとなります。

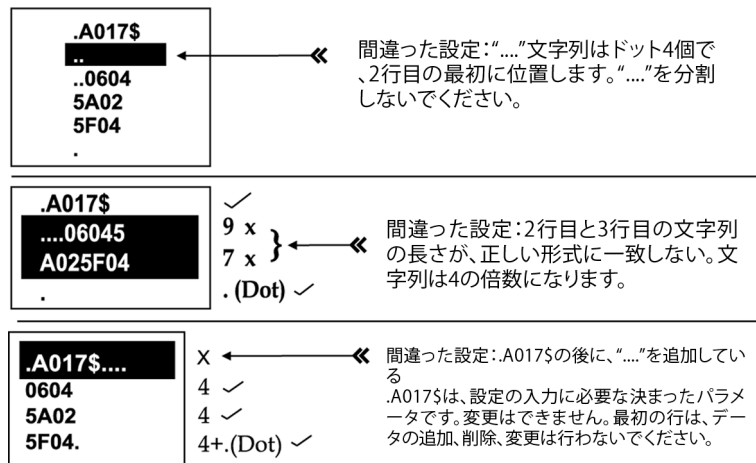


- 5. 同一の設定をプログラムするワンドの一つで、上記ラベルをスキャンします。最初の行から 2 番目の行、上から下へ順番にスキャンします。

正しい設定

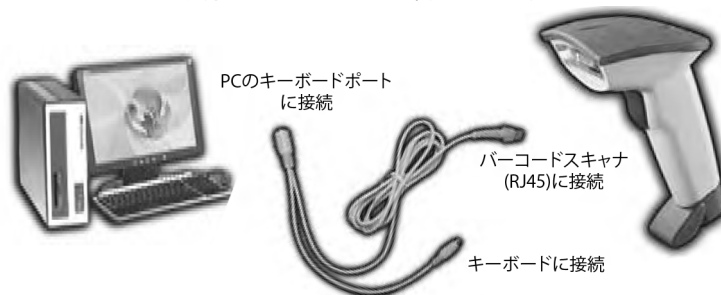


間違った設定



スキャナとホストターミナルの接続：ハンドヘルドバーコードスキャナ キーボードウェッジインターフェース

1. ホストコンピュータの電源を落とします。
2. キーボードケーブルをコンピュータから抜きます。
3. Yケーブルで、キーボード、スキャナ、コンピュータを接続します。
4. コンピュータを再起動します。
5. スキャナがビープ音を発します。
6. グループ 1 (9 ページ) (インターフェース選択) を参照して、スキャナをキーボードインターフェースに設定します。
7. スキャナが、設定を確定してビープ音を発します。
8. バーコードをスキャンして、モニタに表示されるデータを確定します。

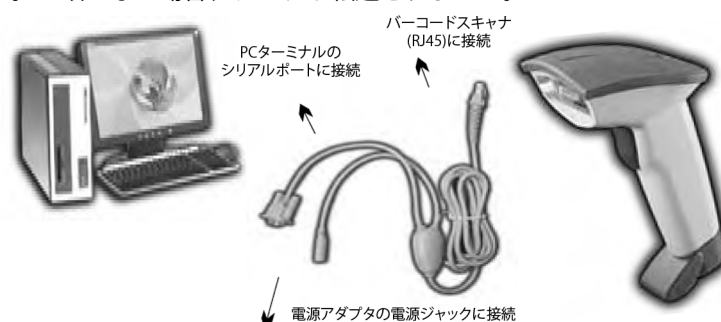


RS-232C インターフェース

1. ホストコンピュータの電源を落とします。
2. RS-232C ケーブルで、スキャナとコンピュータを接続します。
3. 電源アダプタをケーブルに接続します。
4. コンピュータを再起動します。
5. 電源アダプタをコンセントに挿します。
6. スキャナがビープ音を発します。
7. グループ 1 (9 ページ) (インターフェース選択) を参照して、スキャナを RS-232C インターフェースに設定します。
8. RS-232C プロトコルを設定します：Baud Rate, Stop Bits, Handshaking, Data Bits, Parity
9. バーコードをスキャンして、モニタに表示されるデータを確定します。

注記：

1. スキャナを電源アダプタに挿す際は、スキャナとコンピュータに深刻なダメージを与えないために、電圧、消費電力、内部/外部 DC 特性が正しいことを確認してください。
2. スキャナのプロトコル通信設定（ボーレートやデータビットなど）が、ホストコンピュータの特性に一致することを確認してください。一致しない場合、データが転送されません。



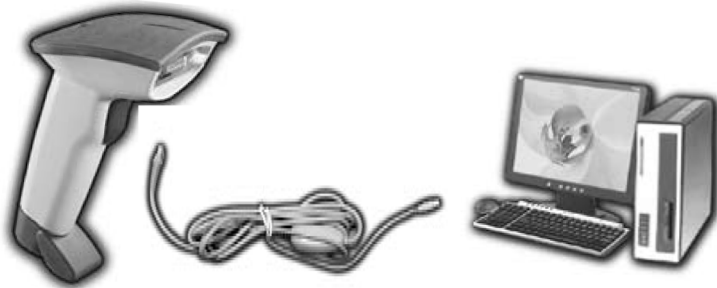
電源アダプタの確認

1. AC 電圧 110V/220V の入力、スキャナを使用する国の電源供給の標準に合致すること
2. アダプタ出力は +5V DC
3. 電源ジャックの入力は +5V DC

USB インターフェース

サポートする USB インターフェースは、Apple の MAC シリーズ、Windows 98, 2000, Me, XP 以降の PC で互換性があります。

1. USB ケーブルでスキャナとコンピュータを接続します。
2. スキャナがビープ音を発します。
3. スキャナが USB ドライバを自動的に検知します。(スキャナを初めて USB ポートに接続する際は、ホストコンピュータの指示に従ってください。)
4. スキャナの KEYBOARD/USB インターフェースを、グループ 1 (インターフェース選択) を参照して設定します。
5. スキャナが、設定を確定してビープ音を発します。
6. バーコードをスキャンして、モニタに表示されるデータを確定します。

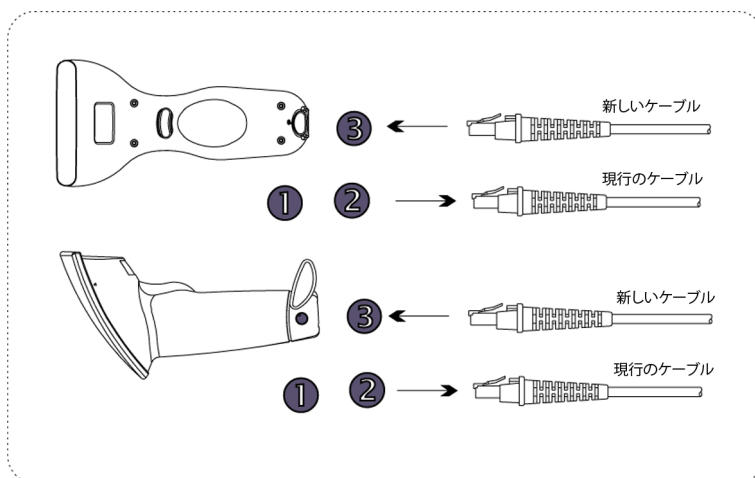


ケーブルの変更

VersaScan II は、インターフェースオプションを簡単に変更できるように設計されています。インターフェースを変更するには、適切なケーブルを使用する必要があります。ケーブルを変更するには、以下の手順に従います：

1. ケーブルを外すには、ケーブルが接続されているスキャナ底面の穴に、ピンかペーパークリップを伸ばしたものを差し込みます。
2. ケーブルをスキャナから取り外します。
3. 新しいケーブルを挿します。

新しいケーブルに変更したら、(RS-232C インターフェースのパラメータ設定を含む) インターフェース設定を適切にリセットします。



グループ 1

インターフェース選択、コンピュータタイプ、デフォルト

DEFAULT

. A001\$



COMPUTER TYPE

. C004\$



PC-AT

. C007\$



NOTEBOOK*

症状

スキャナは正常に動作しているように見えるが、データが出力されない。

対処方法

1. ケーブルをホストコンピュータから抜く
2. ケーブルをホストコンピュータに再度挿す
3. スキャナを正しいコンピュータタイプに設定する

警告：スキャナを新しいホストコンピュータに接続する際は、正しいコンピュータタイプが設定されていることを確認してください。Notebook に設定されている場合、スキャナは外部キーボード無しで動作します。

. C001\$



KEYBOARD& USB

. C003\$



WAND

INTERFACES SELECTION

. C002\$



RS232

症状

ワンドがスキャンをしない/トリガが押し下げられているとスキャナがスキャンしない。

対処方法

1. ホストコンピュータからケーブルを抜く
2. ホストコンピュータに再度ケーブルを挿す
3. ワンドを正しいインターフェースに直ちに設定する。ケーブルはインターフェースに一致する必要がある

警告：本スキャナは、インターフェースオプションを簡単に変更できるよう設計されています。インターフェースを変更するには、適切なケーブルを使用する必要があります。ケーブルを変更した場合は、インターフェース設定を適切にリセットしてください。

グループ 2 読取モード設定



- * LED は常にオン
- * トリガは Continuous Mode では動作しない



- * バーコードがスキャナに近接している場合、LED は恒常的にオンだが、バーコードが 60 秒間検知されない場合、点滅を開始する。
- * Flash Mode では、トリガは動作しない。



- * LED は、トリガが押されると点灯。
- * LED は、トリガをリリースすると消灯。



- * LED は、トリガが押されると常時点灯。
- * LED は、バーコードが 60 秒間検知されないと消灯。



- * 本機能は、Trigger Mode と同機能だが、スキャナがビープ音を鳴らして正常読取を知らせる。



- * 工場テストスキャン



- * Auto-Sensing Mode がオンの場合、Deactivation Time 経過後（デフォルトは 3 秒）バーコードが検知されないと LED は消灯する。
- * LED は、バーコードを検知すると自動的に点灯。
- * Auto-Sensing Mode がオンの場合、Magnetic Switch と Green LED が同時に有効になる。

注記：

1. スキャナの寿命を延ばすには、スキャナを、Trigger Mode、Continuous Auto Off Mode で稼働してください。
2. LED はスタンバイで赤色に、正常読取で緑色に点灯します。
3. Trigger Mode は、通常のハンドヘルドバーコードスキャナで利用可能ですが、トリガは、スイッチ機能のあるワンドのみで利用可能です。
4. Auto-Sensing Mode の詳細な設定（Deactivation Time、Magnetic Switch、Green LED）については、以降のページを参照してください。

グループ 2

読取モード設定

MAGNETIC SWITCH



注記：

1. Magnetic Switch は、Auto-Sensing Mode がオンの場合、自動的に有効となります。
2. Magnetic Switch をイネーブルにするには、スキャナはオートスタンドとセットにします。
3. Magnetic Switch がオフの場合、スキャナはオートスタンド無しで自動検知を開始します。

GREEN LED/ SUPPLEMENT LIGHT



注記：

1. Green LED は、Auto-Sensing Mode がオンの場合、自動的に有効となります。
2. Green LED は、CCD スキャナの補助ライトとして機能し、Auto-Sensing Mode 時スキャナのセンシティブリティを高めます。

グループ 2

読取モード設定



DEACTIVATION TIME

注記：

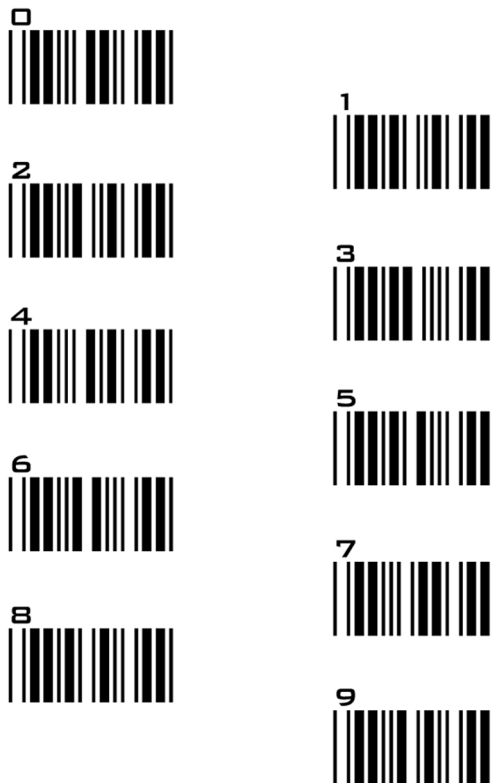
1. デフォルトの Deactivation Time は、3 秒です。
2. Deactivation Time は最後の読取と、Auto-Sensing Mode の自動ディアクティベーションの間の間隔時間です。
3. Deactivation Time の値は、以下の 3 つの手順で設定できます。

ステップ 1：Deactivation Time をスキャン

ステップ 2：下記の数字表で、2 桁（範囲：01 ～ 30 秒の間）をスキャン

ステップ 3：Deactivation Time をスキャン

フルASCII (Code 39) 数字表



注記：

1. 設定が完了していない場合、スキャナはビーブ音を 3 回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESET をスキャンすると、手順を最初から再開できます。



グループ 3

チェックバージョン、ビーptーン、ターミネータ

BEEP TONE MODE

2.1KHz

. F012\$



BEEP OFF

. F013\$



BEEP MEDIUM

. F014\$



BEEP HIGH

. F015\$



BEEP LOW--HIGH

. F016\$



BEEP HIGH--LOW

. F017\$



BEEP LOW

CHECK VERSION

. A007\$



CHECK VERSION

TERMINATOR

. D010\$



NONE

. D013\$



CR+LF

. D011\$



LF

. D014\$



TAB

. D012\$



CR

. D015\$



SPACE

. D016\$



ESC

注記：

1. キーボードウェッジインターフェースは、デフォルトのターミネータは CR です。
2. USB インターフェースは、デフォルトのターミネータは CR です。
3. RS-232C インターフェースは、デフォルトのターミネータは CR + LF です。

グループ 4

セットアップコード読取、プリアンブル&ポストアンブル

SETUP CODE READ



注記：

* 1 本設定は、ユーザによる手動の設定をディセーブルにします。バーコード設定を使用するには、Setup Code On イネーブルバーコード設定をスキャンします。

PREAMBLE & POSTAMBLE (PREFIX AND SUFFIX)



例：

PREAMBLE キャラクタを "##" に設定します。

POSTAMBLE キャラクタを "\$\$" に設定します。

設定手順：

ステップ 1：スキャン：PRE/POSTAMBLE をクリアします。

ステップ 2：スキャン：PREAMBLE

ステップ 3：スキャン：フル ASCII 表から "#" を 2 回

ステップ 4：スキャン：PREAMBLE

ステップ 5：スキャン：POSTAMBLE

ステップ 6：スキャン：フル ASCII 表から "\$" を 2 回

ステップ 7：スキャン：POSTAMBLE

フォーマット：

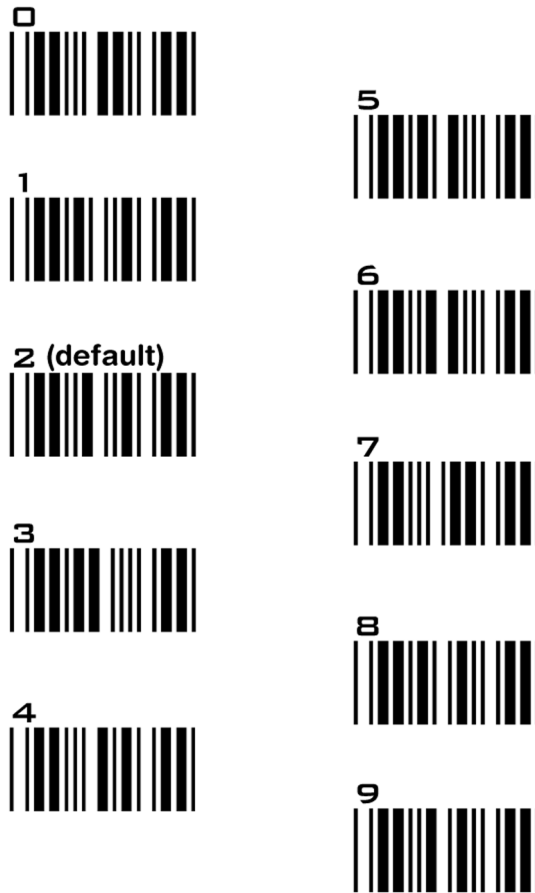
{Preamble}{Code ID}{Bar Code}{Postamble}

注記：

1. PREAMBLE は最長 16 文字の文字列で、スキャンしたバーコードの先頭に付加します。
2. POSTAMBLE は最長 16 文字の文字列で、スキャンしたバーコードの末尾に付加します。
3. デフォルト値：どちらも None

グループ 5

正確性調整



**ACCURACY
ADJUSTMENT**



正確性調整により、デコード出力の信頼性が向上します。本機能をイネーブルにし1から9の数字を設定すると、デコード出力により高い正確性を可能にします。数字が大きいほど、正確性は向上します。

設定手順：

1. ACCURACY ADJUSTMENT をスキャン
2. 上記バーコードメニューから、数字1桁（1-9）をスキャン
3. ACCURACY ADJUSTMENT をスキャン



注記：

1. 本スキャナは、設定が完了していないとピープ音を3回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESET をスキャンすると、手順を最初から再開できます。

グループ 6

CODE ID のイネーブルとディセーブル

ENABLE CODE ID



DISABLE CODE ID



注記：

1. CODE ID は 1 個だけ送信されます。
2. CODE ID は、バーコードの前かプリアンブルの後に位置します。

例：

1. プリアンブル 145287
2. CODE ID : AIM ID のイネーブル
3. バーコードシンボロジー : EAN 13+5

145287	JE0	4563987123453	12411
Preamble 145287	CODE ID AIM ID : JE0	BARCODE / DATA EAN 13 +5	
OUTPUT : 145287]E0456398712345312411			

グループ 7

シンボロジー CODE ID 識別子、SET ID

Symbologies	Factory ID	AIM ID (new)	Symbologies	Factory ID	AIM ID (new)
MSI	O	JM0	EAN 128	T	JC1
MSI(MOD 10 / CDV & not send CD)		JM1	Code 128	K	JC0
EAN8(+2/+5 OFF)	S	JE4	Code 32	B	JX0
EAN8(+2 ON)		JE4	Codabar	N	JF0
EAN8(+5 ON)	JE4	Codabar(ABC Codabar)	JF1		
UPC-E(+2/+5 OFF)	E	JE0	Codabar(CDV & Send CD)		JF2
UPC-E(+2 ON)		JE3	Codabar(CDV & not send CD)	JF4	
UPC-E(+5 ON)		JE3	UK Plessey	P	JP0
UPC-A(+2/+5 OFF)	A	JE0	Matrix 2 of 5	Y	JX0
UPC-A(+2 ON)		JE3	Full ASCII Code 39(disable CDV)	D	JA4
UPC-A(+5 ON)		JE3	Full ASCII Code 39(CDV & send CD)		JA5
EAN-13(+2/+5 OFF)	JE0	Full ASCII Code 39(CDV & not send CD)	JA7		
EAN-13(+2 ON)	F	JE3	Standard Code 39(disable CDV)	M	JA0
EAN-13(+5 ON)		JE3	Standard Code 39(CDV & send CD)	JA1	
Code 93	L	JG0	Standard Code 39(CDV & not send CD)		JA3
Code 11(disable CDV)	J	JH0	IATA 2 of 5	R	JR0
Code 11(send one CD)		JH0	Industrial 2 of 5	V	JS0
Code 11(send two CD)		JH1	China Post Code	H	JX0
Code 11(not send CD)		JH3	Interleaved 2 of 5(CDV & send CD)		JH1
Telepen(ASCII)	U	JB0	Interleaved 2 of 5(CDV & not send CD)	I	JH3
Telepen(Numeric)		JB1	Interleaved 2 of 5(disable CDV)		JH0

SET ID – 設定手順

設定手順：

1. シンボロジーの SET ID バーコードをスキャン
2. フル ASCII 表から 1 個か 2 個の英数字をスキャン
3. SET ID バーコードを再度スキャン

例：MSI Code ID = A, Code 93 = G9 を定義

MSI:

ステップ 1：MSI Set ID (グループ 9) をスキャン (19 ページ)

ステップ 2：グループ 37 から "A" (56 ページ)

ステップ 3：MSI Set ID (グループ 9) をスキャン (19 ページ)

Code 93：

ステップ 1：Code 93 (グループ 8) をスキャン (18 ページ)

ステップ 2：グループ 38 から "G"、グループ 42 から "9" をスキャン (61 ページ)

ステップ 3：Code 93 Set ID (グループ 8) をスキャン (18 ページ)

注記：

1. Code ID の長さは、1 個か 2 個の文字です。1 個の文字列を設定すると、Code ID 出力は、1 個の文字列となります。2 個の文字列を設定すると、Code ID 出力は、2 個の文字列となります。
2. 1 種類のタイプの Code ID だけが送信されます。

グループ 8

CODE ID 設定 : SET ID

. P001\$ 	EAN 13 Set ID
. P002\$ 	EAN 8- Set ID
. P003\$ 	UPC E Set ID
. P004\$ 	UPC A Set ID
. P005\$ 	CODE 39 Set ID
. P013\$ 	Code 93 Set ID
. P007\$ 	Codabar Set ID
. P021\$ 	IATA Set ID
. P010\$ 	Code 128 Set ID
. P016\$ 	EAN128 Set ID
. P022\$ 	Telepen Set ID
. P009\$ 	Code 11 Set ID
. P011\$ 	Code 32 Set ID

グループ 9

CODE ID 設定 : SET ID

China Post Code
[TOSHIBA Code] Set ID



MSI Code Set ID



UK Plessy Set ID



Matrix 2 of 5 Set ID



Interleave 2 of 5
Set ID



Industrial 2 of 5 Set ID



Full ASCII Code39
Set ID



RSS 14/LIMITED



RESET




注記 :

1. 本スキャナは、設定が完了していないとビープ音を3回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESET をスキャンすると、手順を最初から再開できます。

グループ 10

ブロックとキャラクタ間のディレイ

INTERBLOCK DELAY

. B001\$ 	<u>0mS</u>
. B002\$ 	10mS
. B003\$ 	50mS
. B004\$ 	100mS
. B005\$ 	200mS
. B006\$ 	500mS

INTERCHARACTER DELAY

. B010\$ 	<u>140uS</u>
. B011\$ 	500uS
. B012\$ 	1mS
. B013\$ 	4mS
. B014\$ 	16mS

グループ 11

キーボードレイアウト / CAPLOCK モード / 数字キー

KEYBOARD LAYOUT

. C010\$



ENGLISH (USA)

. C018\$



ENGLISH (UK)

. C011\$



GERMAN

. C012\$



FRENCH

. C009\$



JAPAN (106 key only)

. C013\$



SPANISH

. C014\$



ITALIAN

. C015\$



UNIVERSAL CODE

. C016\$



SWISS

. C017\$



CZECH (QWERTY)

CAPITAL LOCK MODE

. A004\$



CAPLOCK ON

. A005\$



CAPLOCK OFF

. A006\$



CAPLOCK FREE

注記：

バーコードスキャナが Caplock Free モードに設定された場合、キーボードの Capslock LED インジケータのオン／オフにかかわらず、出力はバーコード設定と同じになります。すなわち、見た通りの出力となります。

NUMERIC KEY

. D017\$



NUMERIC KEY

. D018\$



ALPHANUMERIC KEY

グループ 12

RS232: BAUD RATE, DATA BITS & PARITY

BAUD RATE



DATA BITS & PARITY



グループ 13

RS232: STOP BIT, HANDSHAKING, ACK/NAK、 FLOW CONTROL

STOP BITS

. E016\$



1 STOP BITS

. E017\$



2 STOP BITS

HANDSHAKING

. E018\$



NONE

. E019\$



RTS enable at Power on

. E020\$



RTS enable with Communication

ACK / NAK

. E023\$



ON

. E024\$



OFF

FLOW CONTROL: TIME OUT

. E025\$



1 Sec

. E026\$



3 Sec

. E027\$



10 Sec

. E028\$



Unlimited

グループ 14

ワンドエミュレーションのパラメタ設定



**LEVEL DURATION OF
MINI WIDTH**



**POLARITY OF
IDLE CONDITION**



**OUTPUT OF WAND
EMULATION**



WAVE FORM



グループ 15 ~ 33

シンボロジーのフォーマット

グループ 15

シンボロジーのイネーブル

. A002\$



ENABLE ALL CODE

. K010\$



CODE 32

. K001\$



CHINA POSTAL CODE

. L010\$



UK PLESSY CODE

. N001\$



INDUSTRIAL 2 OF 5

. M010\$



MATRIX 2 OF 5

. J001\$



INTERLEAVE 2 OF 5

. J010\$



CODE 128

. I001\$



CODABAR

. L014\$



TELEPEN

. H001\$



UPC-A

. H007\$



UPC-E

. H019\$



EAN -8

. H013\$



EAN -13

. L001\$



MSI

. G008\$



CODE 39

. I010\$



CODE 11

. G010\$



CODE 93

. M001\$



EAN-128

. N017\$



IATA

グループ 16

シンボロジーのディセーブル



DISABLE ALL CODE



CODE 32



CHINA POSTALCODE



UK PLESSY CODE



INDUSTRIAL 2 OF 5



MATRIX 2 OF 5



INTERLEAVED 2 OF 5



CODE 128



CODABAR



TELEPEN



UPC-A



UPC-E



EAN-8



EAN-13



MSI



CODE 39



CODE 11



CODE 93



EAN -128



IATA

グループ 17

シンボロジー：CHINA POST CODE(TOSHIBA CODE)

**CHINA POSTAL CODE
[TOSHIBA CODE]**

. K001\$



ENABLE

. K002\$



DISABLE

. K003\$



DISABLE CDV

. K004\$



CDV & SEND CD

. K005\$



CDV & NOT SEND CD

. K006\$



MIN LENGTH (11)

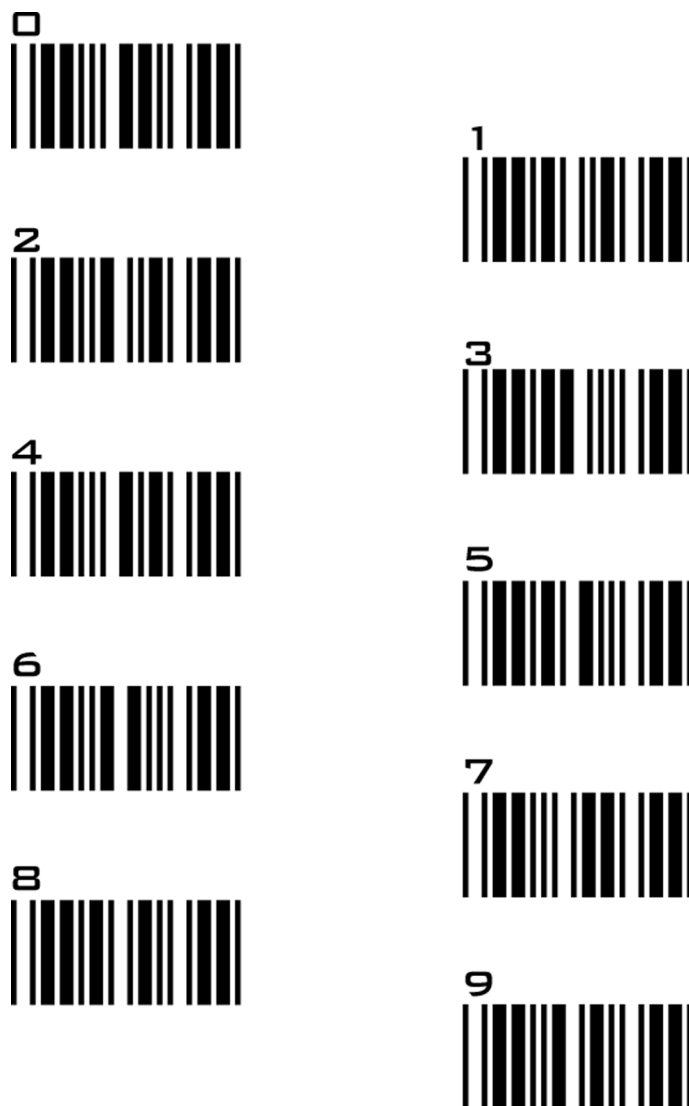
. K007\$



MAX LENGTH (48)

APPENDIX

フル ASCII (Code 39) 数字表



設定手順

MIN / MAX LENGTH

ステップ 1 – スキャン：MIN / MAX LENGTH

ステップ 2 – スキャン：Appendix から 2 桁

ステップ 3 – スキャン：MIN / MAX LENGTH

Min Length または Max Length がイネーブルであるとき、スキャナはそれらの長さのパラメタに合致するバーコードのみを読み取ります。設定より短い、または長いバーコードは読取られません。デフォルト長は、各シンボロジーの Min と Max のバーコードの下にカッコで示されています。

注記：

1. 本スキャナは、設定が完了していないとピープ音を 3 回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESET をスキャンすると、手順を最初から再開できます。



グループ 18

シンボロジー : MSI CODE, UK PLESSY CODE



MSI

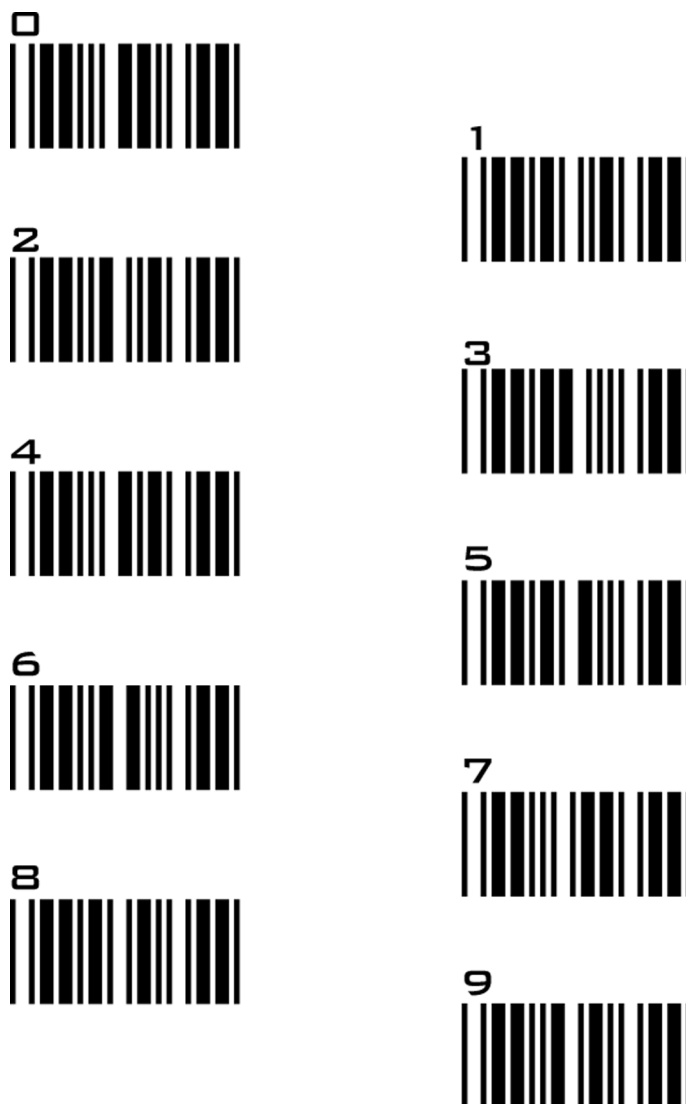


UK PLESSY CODE



APPENDIX

フル ASCII (Code 39) 数字表



設定手順

MIN / MAX LENGTH

ステップ 1 – スキャン：MIN / MAX LENGTH

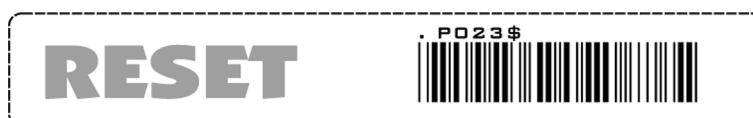
ステップ 2 – スキャン：Appendix から 2 桁

ステップ 3 – スキャン：MIN / MAX LENGTH

Min Length または Max Length がイネーブルであるとき、スキャナはそれらの長さのパラメタに合致するバーコードのみを読み取ります。設定より短い、または長いバーコードは読取られません。デフォルト長は、各シンボロジーの Min と Max のバーコードの下にカッコで示されています。

注記：

1. 本スキャナは、設定が完了していないとピープ音を 3 回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESET をスキャンすると、手順を最初から再開できます。



グループ 19

シンボロジー : CODE 93, TELEPEN, IATA



ENABLE



DISABLE

CODE 93



MIN LENGTH (6)



MAX LENGTH (48)



ENABLE TELEPEN



DISABLE TELEPEN

TELEPEN



TELEPEN ASCII



TELEPEN NUMBER



ENABLE



DISABLE



DISABLE CDV



CDV & SEND CD

IATA



CDV & NOT SEND CDV



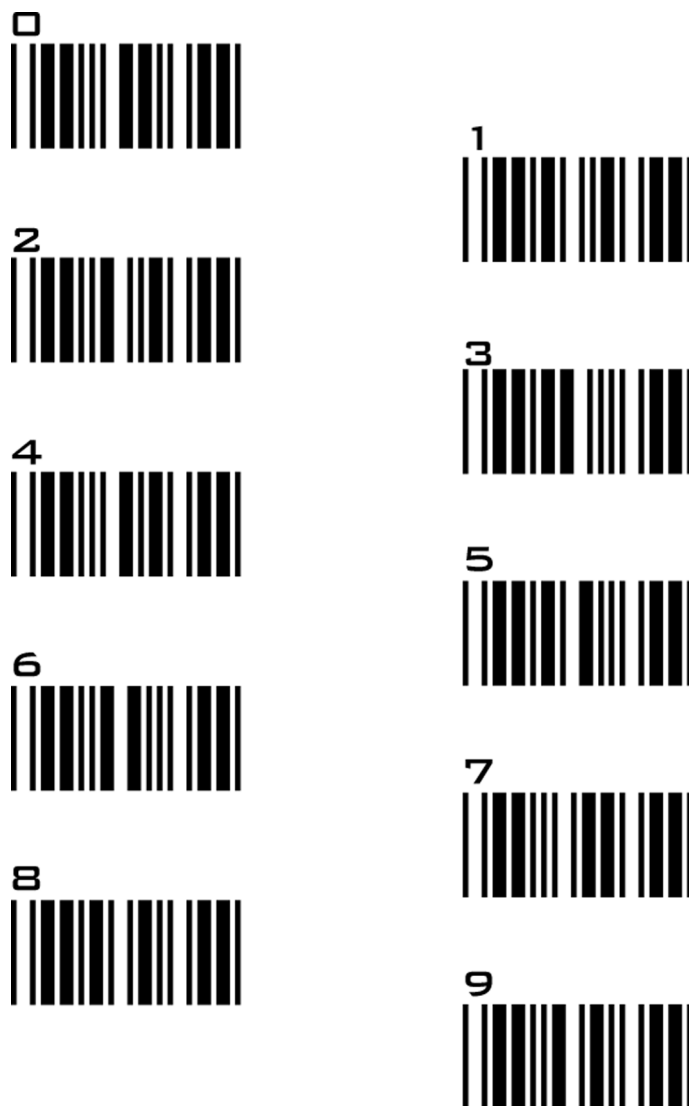
MIN LENGTH (6)



MAX LENGTH (48)

APPENDIX

フル ASCII (Code 39) 数字表



設定手順

MIN / MAX LENGTH

ステップ 1 – スキャン：MIN / MAX LENGTH

ステップ 2 – スキャン：Appendix から 2 桁

ステップ 3 – スキャン：MIN / MAX LENGTH

Min Length または Max Length がイネーブルであるとき、スキャナはそれらの長さのパラメタに合致するバーコードのみを読み取ります。設定より短い、または長いバーコードは読取られません。デフォルト長は、各シンボロジーの Min と Max のバーコードの下にカッコで示されています。

注記：

1. 本スキャナは、設定が完了していないとピープ音を 3 回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESET をスキャンすると、手順を最初から再開できます。



グループ 20

シンボロジー : INTERLEAVE 2 OF 5, CODE 11

. J001\$



ENABLE

. J002\$



DISABLE

. J003\$



DISABLE CDV

. J004\$



CDV & SEND CD

. J005\$



CDV & NOT SEND CDV

INTERLEAVE 2 OF 5

. J008\$



First digit suppressed

. J009\$



Last digit suppressed

. J014\$



NO suppressed

. J006\$



MIN LENGTH (6)

. J007\$



MAX LENGTH (48)

. I010\$



ENABLE

. I011\$



DISABLE

. I012\$



DISABLE CDV

. I013\$



CDV & SEND CD

. I042\$



CDV & SEND CD
(1 DIGIT)

CODE 11

. I043\$



CDV & SEND CD
(2 DIGITS)

. I014\$



CDV & NOT SEND CD

. I015\$



MIN LENGTH (6)

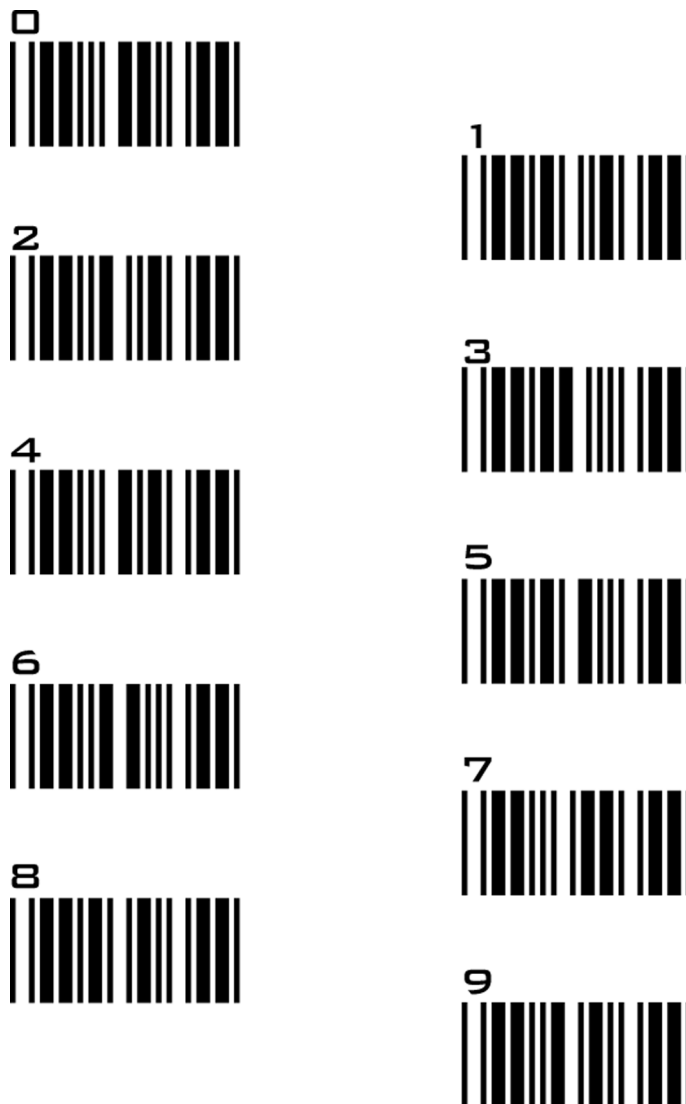
. I016\$



MAX LENGTH (32)

APPENDIX

フル ASCII (Code 39) 数字表



設定手順

MIN / MAX LENGTH

ステップ 1 – スキャン: MIN / MAX LENGTH

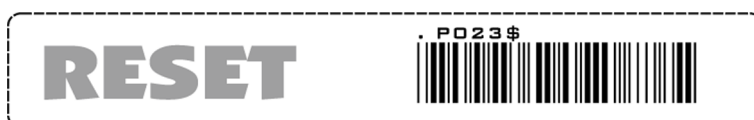
ステップ 2 – スキャン: Appendix から 2 桁

ステップ 3 – スキャン: MIN / MAX LENGTH

Min Length または Max Length がイネーブルであるとき、スキャナはそれらの長さのパラメタに合致するバーコードのみを読み取ります。設定より短い、または長いバーコードは読取られません。デフォルト長は、各シンボロジーの Min と Max のバーコードの下にカッコで示されています。

注記:

1. 本スキャナは、設定が完了していないとビーブ音を 3 回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESET をスキャンすると、手順を最初から再開できます。



グループ 21

シンボロジー : INDUSTRIAL 2 OF 5, MATRIX 2 OF 5



INDUSTRIAL 2 OF 5

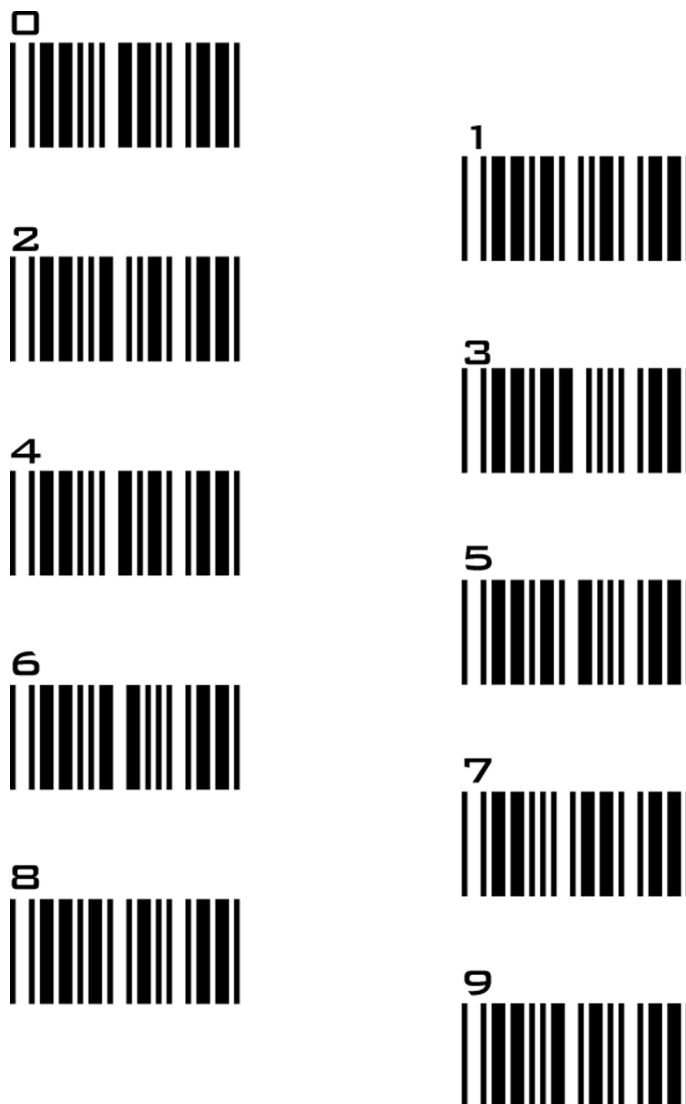


MATRIX 2 OF 5



APPENDIX

フル ASCII (Code 39) 数字表



設定手順

MIN / MAX LENGTH

ステップ 1 – スキャン: MIN / MAX LENGTH

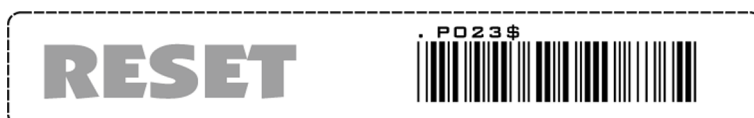
ステップ 2 – スキャン: Appendix から 2 桁

ステップ 3 – スキャン: MIN / MAX LENGTH

Min Length または Max Length がイネーブルであるとき、スキャナはそれらの長さのパラメタに合致するバーコードのみを読み取ります。設定より短い、または長いバーコードは読取られません。デフォルト長は、各シンボロジーの Min と Max のバーコードの下にカッコで示されています。

注記:

1. 本スキャナは、設定が完了していないとビーブ音を 3 回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESET をスキャンすると、手順を最初から再開できます。



グループ 22

シンボロジー：CODABAR



ENABLE



DISABLE



DISABLE CDV



CDV & SEND CD

CODABAR



CDV & NOT SEND CD



MIN LENGTH (6)



MAX LENGTH (48)



ST/SP: abcd/abcd



ST/SP: ABCD/ABCD



ST/SP: ABCD/TN*E



ST/SP:abc/tn*e

START / STOP



SEND START /STOP



Not Sent START / STOP

Example of ST (Start) / SP (Stop)

123456	Not Transmit ST/SP
A123456B	ST/SP: ABCD/ABCD
a123456b	ST/SP: abcd/abcd
A123456N	ST/SP: ABCD/TN*E
a123456n	ST/SP: abcd/tn*e



CLSI FORMAT ON



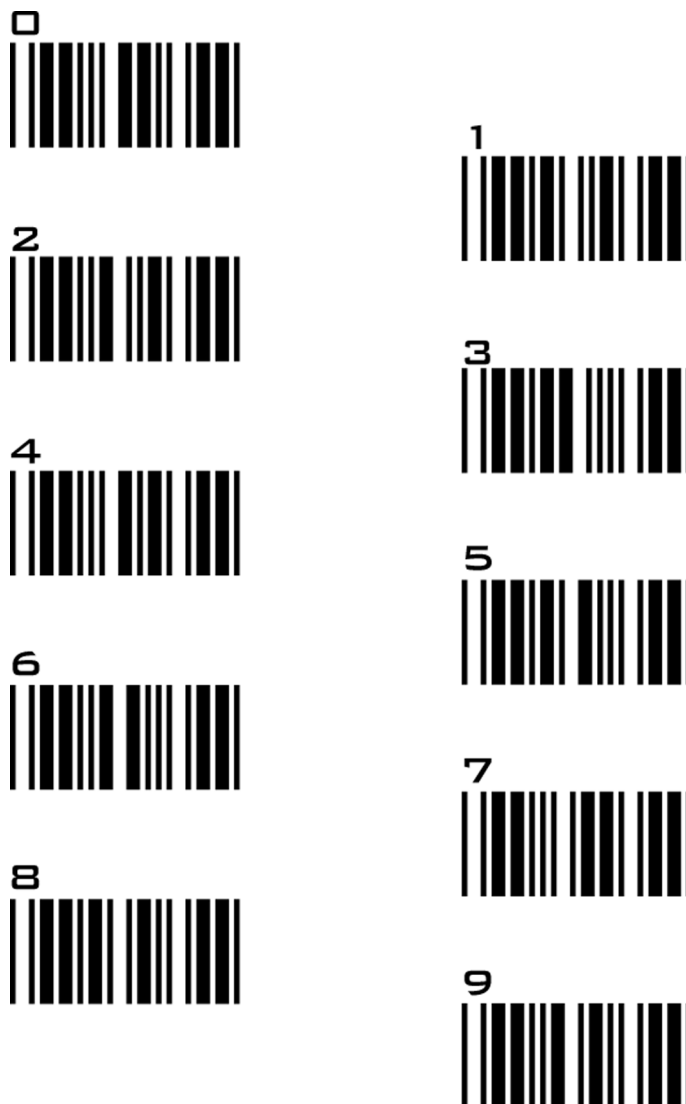
CLSI FORMAT OFF

CLSI FORMAT

CLSI - ライブラリスペースの挿入をイネーブルにする。CLSI フォーマットをイネーブルにすると、ライブラリシステムでの使用のため、データストリングのポジション2, 7, 13にスペースを挿入する

APPENDIX

フル ASCII (Code 39) 数字表



設定手順

MIN / MAX LENGTH

ステップ 1 – スキャン: MIN / MAX LENGTH

ステップ 2 – スキャン: Appendix から 2 桁

ステップ 3 – スキャン: MIN / MAX LENGTH

Min Length または Max Length がイネーブルであるとき、スキャナはそれらの長さのパラメタに合致するバーコードのみを読み取ります。設定より短い、または長いバーコードは読取られません。デフォルト長は、各シンボロジーの Min と Max のバーコードの下にカッコで示されています。

注記:

1. 本スキャナは、設定が完了していないとピープ音を 3 回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESET をスキャンすると、手順を最初から再開できます。



グループ 23

シンボロジー：ABC-CODABAR, CX-CODABAR



ON



OFF



SET INSERT DATA*

ABC- CODABAR



INSERT DATA -ON



INSERT DATA-OFF

* データはフル ASCII 表 (グループ 34-42) (53-61 ページ) の任意の英数字が可能

ABC-CODABAR(American Blood Commision)。ABC Code はアメリカ血液委員会の頭文字です。本バーコードは、CODABAR Code の一種で、血液銀行用に作成されました。本コードは、1 回の読取サイクルでデコードされる 2 つのバーコードで構成されます。最初のバーコードのストップキャラクタと 2 番目のバーコードのスタートキャラクタが "D" の場合、連結されます。この 2 つの "D" は、転送されません。



ON



OFF



SET INSERT DATA*

CX CODE- CODABAR



INSERT DATA -ON



INSERT DATA-OFF

* データはフル ASCII 表 (グループ 34-42) (53-61 ページ) の任意の英数字が可能

注意：

CX-Code は、1 回の読取サイクルでデコードされる 2 つのバーコードから構成され、最初のバーコードのストップキャラクタが C で、2 番目のバーコードのスタートキャラクタが B の場合、連結されます。B と C のキャラクタは、転送されません。

グループ 24

シンボロジー：CODABAR-COUPLING, ADJACENT REQUIRED



ON



OFF



SET INSERT DATA*

CODABAR COUPLING



INSERT DATA-ON



INSERT DATA- OFF

ABC-Codabar と CX-Codabar は、最初のバーコードのストップキャラクタと 2 番目のバーコードのストップキャラクタの連結時に一定のルールがあります。Codabar-Coupling がイネーブルにされている場合、任意の 2 つの Codabar バーコードは、最初のバーコードのストップキャラクタと 2 番目のバーコードのスタートキャラクタに特に制限無く、1 個のデータセットにすることができます。各バーコードのスタートとストップのキャラクタも送信されます。

* データは、フル ASCII 表の任意の英数字が可能です。(グループ 34-42) (53 ~ 61 ページ)

ADJACENT REQUIRED

CODABAR ADJACENT がイネーブルにされている場合、スキャナは 2 つの隣接する Codabar のみ読み取ります。単独のバーコードは読み取れません。



ON



OFF

注記：

1. Codabar-Coupling もイネーブルもイネーブルにされている時以外は、ABC-Codabar と CX-Codabar を同時にイネーブルできません。
2. ABC-Codabar、CX-Codabar、Codabar-Coupling が同時にすべてイネーブルにされている場合、スキャナは Codabar-Coupling のみを読み取り、ABC-Codabar と CX-Codabar はカップリングフォーマットと見なされます。

設定手順 - 挿入データの設定

ステップ 1 - SET INSERT DATA をスキャン

ステップ 2 - フル ASCII 表で、任意の英数字キャラクタの組合せをスキャン

ステップ 3 - SET INSERT DATA をスキャン



1. 本スキャナは、設定が完了していないとピープ音を 3 回鳴らして警告します。
2. 間違っしてスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESET をスキャンすると、手順を最初から再開できます。

グループ 25

シンボロジー : STANDARD & FULL ASCII CODE 39, CODE 32

STANDARD CODE 39 & FULL ASCII 39



ENABLE



DISABLE



**FULL ASCII CODE 39
ENABLE**



FULL ASCII CODE 39
DISABLE



START / STOP - SEND



DISABLE CDV



CDV & SEND CD



CDV & NOT SEND CD



MIN LENGTH (1)



MAX LENGTH (48)



START / STOP Not SEND

注記 :

Code 39 のデフォルトは、Standard Code 39 です。Full ASCII Code 39 がイネーブルにされている場合、Standard Code 39 は自動的にディセーブルになります。



ENABLE



DISABLE



LEADING SEND

CODE 32



LEADING NOT SEND



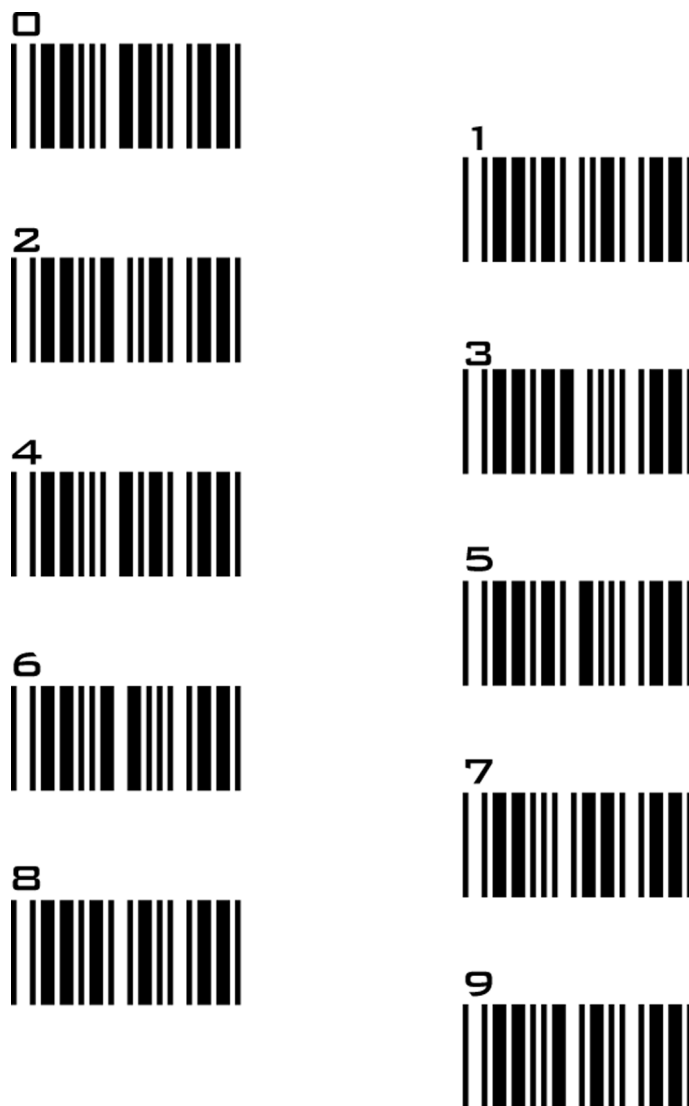
TAILING SEND



TAILING NOT SEND

APPENDIX

フル ASCII (Code 39) 数字表



設定手順

MIN / MAX LENGTH

ステップ 1 – スキャン：MIN / MAX LENGTH

ステップ 2 – スキャン：Appendix から 2 桁

ステップ 3 – スキャン：MIN / MAX LENGTH

Min Length または Max Length がイネーブルであるとき、スキャナはそれらの長さのパラメタに合致するバーコードのみを読み取ります。設定より短い、または長いバーコードは読取られません。デフォルト長は、各シンボロジーの Min と Max のバーコードの下にカッコで示されています。

注記：

1. 本スキャナは、設定が完了していないとピープ音を 3 回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESET をスキャンすると、手順を最初から再開できます。



グループ 26

シンボロジーのフォーマット：UPC-E



ENABLE



DISABLE



LEAD DIGIT SEND

UPC-E



LEAD DIGIT NO SEND



CHECK DIGIT SEND



CHECK DIGIT NO SEND



+5 ON



+ 5 OFF



+2 ON



+ 2 OFF

ADD ON SUPPLEMENT



ADD A SPACE ON



ADD A SPACE OFF



ADDENDA REQUIRED OFF



ADDENDA REQUIRED ON

注記：

“addenda required on” が設定されている場合、スキャナは “+2 / +5” のひとつまたは両方がオンのアデンダを持つバーコードのみ読み取ります。

グループ 27

シンボロジー：UPC-E システムナンバー

UPC E0



E (0) OFF



E (0) ON

UPC E1



E (1) ON



E (1) OFF

注記：

UPC バーコードは通常 0 ナンバーシステムで始まります。UPC E(0) 選択を使用するバーコード、1 ナンバーシステムで始まるバーコードの場合、UPC(E1) 選択を使用してください。

UPC-E EXPAND TO UPC-A



ENABLE



DISABLE

注記：

1. UPC E EXPAND TO UPC A FORMAT 設定がイネーブルの場合、UPC-A の出力は 12 桁です。
2. UPC-A のデフォルトの出力は 12 桁で、UPC-A EXPAND TO EAN 13 がイネーブルの場合、バーコードの先頭に 0 が付加されます。

グループ 28

シンボロジーのフォーマット：UPC-A



ENABLE



DISABLE



LEAD DIGIT SEND

UPC- A



LEAD DIGIT NO SEND



CHECK DIGIT SEND



CHECK DIGIT NO SEND

**UPC-A EXPAND
TO EAN -13**



ENABLE



DISABLE



+5 ON



+ 5 OFF



+2 ON



+ 2 OFF

ADD ON SUPPLEMENT



ADD A SPACE ON



ADD A SPACE OFF



ADDENDA REQUIRED OFF



ADDENDA REQUIRED ON

注記：

“addenda required on” が設定されている場合、スキャナは“+2 / +5”のひとつまたは両方がオンのアデンダを持つバーコードのみ読み取ります。

グループ 29

シンボロジーのフォーマット：EAN 8



ENABLE



DISABLE



LEAD DIGIT SEND

EAN-8



LEAD DIGIT NO SEND



CHECK DIGIT SEND



CHECK DIGIT NO SEND



+ 5 ON



+ 5 OFF



+ 2 ON



+ 2 OFF

ADD ON SUPPLEMENT



ADD A SPACE ON



ADD A SPACE OFF



ADDENDA REQUIRED OFF



ADDENDA REQUIRED ON

注記：

“addenda required on”が設定されている場合、スキャナは“+2 / +5”のひとつまたは両方がオンのアデンダを持つバーコードのみ読み取ります。

グループ 30

シンボロジーのフォーマット：EAN 13, ISBN, ISSN



ENABLE



DISABLE



LEAD DIGIT SEND

EAN-13



LEAD DIGIT NO SEND



CHECK DIGIT SEND



CHECK DIGIT NO SEND



+ 5 ON



+ 5 OFF



+ 2 ON



+ 2 OFF

ADD ON SUPPLEMENT



ADD A SPACE ON



ADD A SPACE OFF



ADDEND REQUIRED OFF



ADDEND REQUIRED ON



ISBN OFF

ISBN



ISBN ON

注記：

1. "addenda required on" が設定されている場合、スキャナは "+2 / +5" のひとつまたは両方がオンのアデンダを持つバーコードのみ読み取ります。
2. ISSN や ISBN は、EAN13 の拡張と見なされます。ISSN と ISBN を読み取る必要がある場合は、EAN13 をイネーブルにします。ISSN と ISBN をアデンダを付けて読み取る必要がある場合は、EAN13 を ADDENDA REQUIRED をオンにしてイネーブルにする必要があります。



ISSN OFF

ISSN



ISSN ON

注記：

ISSN や ISBN は、EAN13 の拡張コードです。ISSN や ISBN を読み取る必要がある場合は、Enable EAN-13 をイネーブルにしないと読み取ることができません。

グループ 31

シンボロジーのフォーマット：EAN/UCC-128, CODE 128



. M001\$

ENABLE



. M002\$

DISABLE



. M003\$

CODE ID ENABLE



. M004\$

CODE ID DISABLE

EAN/ UCC- 128



. M005\$

FUNC 1 CHEAR SEND



. M006\$

FUNC 1 CHEAR NOT SEND



. M007\$

DEFINE EAN 128

注記：DEFINE EAN128

最初の FNC1 キャラクタは]c1 にトランスレートされ、2 番目の FNC1 キャラクタは ASCII<GS> キャラクタにトランスレートされます。(グループ 43-45 からスキャン) (62-64 ページ)

String format :

]C1	DATA CHARACTERS	<GS>	DATA CHARACTERS
-----	-----------------	------	-----------------

設定手順：

1. DEFINE EAN128 をスキャン
2. ASCII Code (61 ページ) をスキャン
3. DEFINE EAN128 をスキャン

CODE 128



. J010\$

ENABLE



. J011\$

DISABLE



. J012\$

MIN LENGTH (5)



. J013\$

MAX LENGTH (48)

グループ 32

DATABAR(RSS), CONTACT/PEN TYPE 限定

.NO10\$



Databar-14 / LIMITED
ENABLE

.NO11\$



Databar-14 / LIMITED
DISABLE

.NO12\$



Databar-14 / LIMITED
CHECK DIGIT SEND

.NO13\$



Databar-14 / LIMITED
CHECK DIGIT NOT SEND

.NO24\$



Databar-14 / LIMITED
PREFIX SEND

.NO25\$



Databar-14/LIMITED
PREFIX NOT SEND

.PO24\$



Databar-14 / SET ID

.PO19\$



Databar-LIMITED SET ID

グループ 32

DATABAR(RSS) 限定、拡張

. N032\$

Databar -14 ENABLE

. N034\$

Databar -14 CHECK DIGIT SEND

. N036\$

Databar -14 PREFIX SEND

. N038\$

Databar-14 STACKED ENABLE

. P024\$

Databar -14 SET ID

. N010\$

Databar-LIMITED ENABLE

. N012\$

Databar-LIMITED CHECK DIGIT SEND

. N024\$

Databar-LIMITED PREFIX SEND

. P019\$

Databar -LIMITED SET ID

. N026\$

Databar-EXPANDED ENABLE

. N028\$

Databar-EXPANDED STACKED ENABLE

. N030\$

Databar-EXPANDED MIN LENGTH

. P020\$

Databar-EXPANDED SET ID

Databar (RSS-14)

. N033\$

Databar-14 DISABLE

. N035\$

Databar-14 CHECK DIGIT NOT SEND

. N037\$

Databar-14 PREFIX NOT SEND

. N039\$

Databar-14 STACKED DISABLE

Databar (RSS LIMITED)

. N011\$

Databar-LIMITED DISABLE

. N013\$

Databar-LIMITED CHECK DIGIT NOT SEND

. N025\$

Databar-LIMITED PREFIX NOT SEND

Databar (RSS-EXPANDED)

. N027\$

Databar-EXPANDED DISABLE

. N029\$

Databar-EXPANDED STACKED DISABLE

. N031\$

Databar-EXPANDED MAX LENGTH

グループ 33

シンボロジー：PDF417



.G021\$
PDF417 Enable

PDF417



.G022\$
PDF417 Disable



.B026\$
Idle Mode On

IDLE MODE



.B027\$
Idle Mode Off



.B028\$
Idle Entry Mode Time

注記：

- Idle Mode は、一部のモデルでのみサポートされています。
- Idle Mode がオンの場合、スキャナは、動作がなく Idle Entry Mode Time（デフォルトは 1 分）が経過したときにアイドル状態になります。
- Idle Entry Mode Time の値は、以下の 3 ステップで設定できます。
ステップ 1：Idle Entry Mode Time をスキャン
ステップ 2：下記の数字表から 1 桁（範囲：1～9 分）をスキャン
ステップ 3：Idle Entry Mode Time をスキャン



設定手順

MIN / MAX LENGTH

ステップ 1 – スキャン：MIN / MAX LENGTH

ステップ 2 – スキャン：Appendix から 2 桁

ステップ 3 – スキャン：MIN / MAX LENGTH

Min Length または Max Length がイネーブルであるとき、スキャナはそれらの長さのパラメタに合致するバーコードのみを読み取ります。設定より短い、または長いバーコードは読取られません。デフォルト長は、各シンボロジーの Min と Max のバーコードの下にカッコで示されています。

注記：

- 本スキャナは、設定が完了していないとピープ音を 3 回鳴らして警告します。
- 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESET をスキャンすると、手順を最初から再開できます。

RESET



グループ 34

フル ASCII 表 (CODE 39)

%L

NUL

\$B

STX

\$D

EOT

\$F

ACK

\$H

BS

\$J

LF

\$L

FF

\$N

SO

\$A

SOH

\$C

ETX

\$E

ENQ

\$G

BEL

\$I

HT

\$K

VT

\$M

CR

\$O

SI

グループ 35

フル ASCII 表 (CODE 39)



グループ 36

フル ASCII 表 (CODE 39)



グループ 37

フル ASCII 表 (CODE 39)



グループ 38

フル ASCII 表 (CODE 39)



グループ 39

フル ASCII 表 (CODE 39)



グループ 40

フル ASCII 表 (CODE 39)



グループ 41

フル ASCII 表 (CODE 39)



グループ 42

フル ASCII 数字表 (CODE 39)



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

グループ 43

ファンクションコード表 (CODE 39)



グループ 44

ファンクションコード表 (CODE 39)



Cursor Right



Cursor Left



Cursor Up



Cursor Down



Page Up



Page Down



Tab



Back Tab



Esc



Enter



BS



Ins



Del

グループ 45

ファンクションコード表 (CODE 39)

\$T%L



Alt (Left) make*1

\$T%M



Alt (Left) break

\$T%N



Shift (Left) make *2

\$T%O



Shift (Left) break

\$T%W



Ctrl (Left) make *3

\$T+A



Ctrl (Left) braek

\$T+D



Enter (Numeric Key)

For UK Keyboard Special Character

\$T+B



⌋

\$T+C



£

注記：

- * 1. "Alt(left)Make" がプログラム済み。バーコード設定をレジュームするには、"Alt(left)Break" をスキャン
- * 2. "Shift(left)Make" がプログラム済み。バーコード設定をレジュームするには、"Shift (left)Break" をスキャン
- * 3. "Ctrl(left)Make" がプログラム済み。バーコード設定をレジュームするには、"Ctrl (left)Break" をスキャン

グループ 46

トラブルシューティング

VersaScan II のインストールと使用は簡単です。操作上の問題は主に、下記の原因が考えられます。

- インターフェース接続の誤り
- 初期設定の誤り
- 低品質なバーコード

一般的解決手順

1. 最初に、スキャナとホストコンピュータの接続を確認します。正しい場合、長いビープ音をが 1 回鳴ります。トリガを押し下げると、LED が点滅します。
2. 電源をオン後、本書のサンプルバーコードをスキャンします。デフォルト設定では、ビープ音が鳴り、LED が点滅して正常読取を知らせます。読取が正常にできない場合、スキャンのやり方か、インターフェース設定に問題がある可能性があります。スキャナをデフォルトにリセットしてください。
3. 正常読取が告知されたにもかかわらずモニタにデータ出力が無い場合、ケーブルの接続を確認してください。

キーボードウェッジインターフェースの問題

キーボードウェッジインターフェースは、通常トラブルはありませんが、万一問題が生じた際は、下記を確認してください。

正しいケーブルを使用しているか？

コンピュータは通常、XT/AT 互換キーボードを使用しています。正しいケーブルを使用しているか確認してください。

キーボードは動作しているか？

キーボードからキーインされたデータがデコーダに渡されているため、キーボードが機能していれば、ケーブル接続は正しいです。

お使いのコンピュータは、高速なデータ受信が可能か？

コンピュータの BIOS に、キーボードのタイピング速度に影響する機能があります。インタキャラクタディレイ機能を、キーストローク入力速度を速めるよう設定してみてください。

キーボードポートは十分な電力を供給しているか？

ノートブックコンピュータは通常、スキャナに十分な電力を供給しません。電力供給が不十分の場合、正常読取の確率が下がります。(適切なスキャン操作を可能にする電力が十分でないためです)

グループ 47

トラブルシューティング

RS232C インターフェースの問題

バーコードを読取ったのにモニタに出力されない場合、以下が原因の可能性あります。

1. スキャナの、ボーレートやデータビット、パリティ、ハンドシェーキングなどの RS232C のプロトコルを、PC ターミナルの設定にあわせましたか？ 解決法：スキャナの上記 RS232C プロトコルを、PC のプロトコルにあわせてリセットする
2. バーコードのケーブルピンアウトアサインメントが、PC ターミナルのピンアウトアサインメントに合致していますか？

スキャナに電力が供給されていない：

1. スキャナに適切な電源アダプタを接続していますか？
2. スキャナは、PC ターミナルに合致した適切なピンアウトのケーブルで接続していますか？

インターフェースの問題

Code 39 出力のワンドエミュレーションモードを使用していますか？ その場合、デコーダは、Code 39 のデータを受け付けるよう設定されていますか？

スキャナの設定が、読取るバーコードシンボロジーを受け付けることができるかどうか確認してください。

ケーブルが正しく接続されているように見えるのに、スキャナがデータをホストコンピュータに送信しませんか？

スキャナのインターフェースケーブルには、業界標準はありません。そのため、外観が似ていて同じようなコネクタがあっても、異なる種類の可能性があります。例えば、キーボードウェッジとワンドエミュレーションのケーブルは似ていますが、ピンアサインメントが異なるため、互換性はありません。ご使用のケーブルが、適切なコネクタに正しく接続されていることを確認してください。

設定のセットアップ

正しいインターフェースの設定を行っていますか？

正しいインターフェースの設定を行っていますか？ キーボードウェッジケーブルを選択して、RS232C やワンドエミュレーションを設定していませんか？ キーボードケーブルを RS232C に変えたのに、スキャナのインターフェースも RS232C に設定するのを忘れていませんか？ スキャナをデフォルト設定にしてから、ご使用のケーブルと入力にあわせた適切なインターフェースを選択してください。

症状 - ED ライトが固定し、トリガを押しても機能しない。

解決 - スキャナをデフォルトの状態に戻し、正しいインターフェースを選ぶ。

グループ 48

トラブルシューティング

適切なシンボロジーがイネーブルになっていますか？

バーコードシンボロジーは、個別にイネーブルやディセーブルにできます。スキャンするシンボロジーだけをイネーブルにすることをお勧めします。誤って他のシンボロジーを讀取ってしまう可能性がなくなります。

選択したバーコードシンボロジーの設定は、讀取るバーコードに合致していますか？

各バーコードシンボロジーのスキャンされたデータは、使用しないシンボロジーをスキャンしないよう制限することができます。制限は、シンボロジーごとに設定できます。

低品質のバーコード

3 番目の問題は、スキャナの問題ではなく、バーコードの印刷品質や、スキャン操作の技術の問題です。

バーコードの許容差

バーコードは、許容差がある場合があります。通常、許容差は、バーコードフォントのソフトウェアやプリンタによって生じます。良い評価のされているソフトウェアを使用して、バーコードを生成してください。印刷されたバーコードにゆがみがあると、スキャナが認識できない場合があります。

低品質のバーコードで正常な讀取を行うのは、何回も讀取らない限り大変困難です。シンボロジーの品質が落ちると、検出不能エラーが増加します。Check Digit Verification(CDV) を使用して、問題のバーコードの品質をチェックしてください。

ラベル (紙、カラー、プリンタ)

バーコードの光源は、通常赤色なので、ラベルの印刷には制限があります。印刷に使用する素材などを選ぶにあたり、カラーのインクや紙などを使用する時は注意してください。ラベルのカラーとインクのカラーの組合せによっては、スキャナが認識できない場合があります。表面が光沢のある材質も、スキャナが讀取りにくい場合があります。

さらに、印刷の品質が悪いと、スキャナが讀取れない恐れがあります。使用するプリンタのタイプによって、品質が低下します。ドットマトリクスプリンタやインクジェットプリンタは、高品質のバーコードを生成できません。同時に、インク、リボン、トナーがきちんと補給されているかも確認してください。

APPEINDIX 1

デフォルト表 1

CROUP	PARAMETER	DEFAULT	
1	Computer Type	PC-AT	
	Interfaces	*	
	Scan speed	45 scans	
2	Reading Mode	Trigger	
3	Beep Tone Mode 2.1k	Beep Medium	
	Terminator	CR+LF, CR	
4	Setup code read	Setup up code on	
	Preamble & Postamble	Off	
5	Accuracy Adjustment	2	
6~9	Enable & Disable Code ID	Off	
10	Interblock Delay	Oms	
	Inter-character Delay	140us	
11	Keyboard Layout	English(USA)	
	Capital Lock Mode	Caplock Off	
	Numeric Key	Alphanumeric Key	
12	Baud Rate	9600	
	Data Bits & Parity	8 Bit None	
13	Stop Bits	1 stop bit	
	Handshaking	None	
	ACK/NAK	Off	
	Flow Control TimeOut	1 Sec	
14	Level duration of Mini Width	200us	
	Polarity Of Idle Condition	High	
	Output of Wand Emulation	Bar High/Space Low	
	Wave Form	Full ASCII 39	
15~16	Enable and Disable Symbolologies		
	Code 32	Disable	
	China Postal Code	Enable	
	UK Plessey Code	Disable	
	Industrial 2 of 5	Disable	
	Matrix 2 of 5	Disable	
	Interleave 2 of 5	Enable	
	Code 128	Enable	
	Cadabar	Enable	
	Telepen	Disable	
	UPC-A	Enable	
	UPC-E	Enable	
	EAN-8	Enable	
	EAN-13	Enable	
	MSI	Disable	
	Code 39	Enable	
	Code 11	Enable	
Code 93	Disable		
EAN-128	Enable		
IATA	Disable		
17	China Post Code		
	Enable/Disable	Enable	
	Check Digits	Disable CDV	
	Min Length	11 digits	
	Max Length	48 digits	
18	1	MSI	
		Enable/Disable	Disable
		Check Digits	CDV & send CD
		Check Digits Mode	Single MOD 10

* スキャナのインターフェース設定には特定のデフォルト値はなく、カスタマーの注文により設定されます。

APPEINDEX 1

デフォルト表 2

CROUP	PARAMETER	DEFAULT	
18	2	UK Plessy	
		Enable/Disable	Disable
		Check Digits	CDV & not send CD
19	1	Code 93	
		Enable/Disable	Disable
		Min Length	6 digits
		Max Length	48 digits
	2	Telepen	
		Enable/Disable	Disable
		Telepen ASCII /Number	ASCII
	3	IATA	
		Enable/ Disable	Disable
		Check Digits	Disable CDV
		Min Length	6 digits
	20	1	Interleave 2 of 5
Enable/Disable			Enable
Check Digits			Disable CDV
First/ last digit suppressed			No suppressed
Min Length			6 digits
Max Length			48 digits
2		Code II	
		Enable/Disable	Disable
		Check Digits	Disable CDV
		Min Length	6 digits
		Max Length	32 digits
		21	1
Enable/Disable	Disable		
Check Digits	Disable CDV		
Min Length	6 digits		
Max Length	48 digits		
2	Matrix 2 of 5		
	Enable/Disable		Disable
	Check Digits		Disable CDV
	Min Length		6 digits
	Max Length		48 digits
22	1	Codabar	
		Enable/Disable	Enable
		Check Digits	Disable CDV
		Min Length	6 digits
		Max Length	48 digits
		ST/SP:abcd/abcd, abcd/tn*e, ABCD/ABCD,ABCD/TN*E	ABCD/ABCD
		Start(ST)/Stop(SP)send	Send
CLSI Format	ON		
23	1	ABC-Codabar	
		ON/OFF	Off
		Insert Data	Off
	2	CX-Codabar	
		Insert Data	Off
24		Codabar-Coupling	
		ON/OFF	Off
		Insert Data	ON
		Adjacent Required	Off
25	1	Code 39	
		Full ASCII 39 Enable/Disable	Enable
		Check Digits	Disable CDV
		Start/Stop	Not Send
		Min Length	1 digits
	Max Length	48 digits	
	2	Code 32	
		Enable/Disable	Disable
		Leading send/not send	send
		Tailing Send / Tailing not send	Tailing Send

APPEINDEX 1

デフォルト表 3

CROUP	PARAMETER	DEFAULT		
26	UPC-E			
	Enable/Disable	Enable		
	Check Digits	Send		
	Lead Digits	Send		
	Add a space	Off		
	Addenda required	Off		
	+5 On/Off	Off		
	+2 On/Off	Off		
27	UPC-E Systems number			
	UPC E(0) On/Off	On		
	UPC E(1) On/Off	Off		
	UPC-E expand to UPC-A	Disable		
28	UPC-A			
	Enable/Disable	Enable		
	Check Digits	Send		
	Lead Digits	Send		
	Add a space	Off		
	Addenda required	Off		
	+5 On/Off	Off		
	+2 On/Off	Off		
	UPC-A EXPAND TO EAN-13			
Enable / Disable	Disable			
29	EAN-8			
	Enable/Disable	Enable		
	Check Digits	Send		
	Lead Digits	Send		
	Add a space	Off		
	Addenda required	Off		
	+5 On/Off	Off		
+2 On/Off	Off			
30	EAN-13			
	Enable/Disable	Enable		
	Check Digits	Send		
	Lead Digits	Send		
	Add a space	Off		
	Addenda required	Off		
	+5 On/Off	Off		
	+2 On/Off	Off		
	ISSN On/Off	Off		
ISBN	Off			
31	1	EAN/UCC128		
		Enable/Disable	Enable	
		Code ID	Disable	
			Func I Chear send	Not Send
	2	Code 128		
		Enable/Disable	Enable	
Min Length		5 digits		
		Max Length	48 digits	
32	Rss-14		Disable	
	Rss-14 Check digit		Not Send	
	Rss-14 Prefix		Not Send	
	Rss-Limited		Disable	
	Rss-Limited Check Digit		Not Send	
	Rss-Limited Prefix		Not Send	

APPEINDIX 2

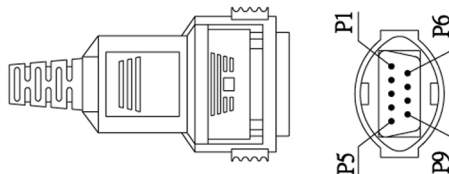
ケーブルピンアサインメント

インターフェース：

1. TTL, ワンドエミュレーション

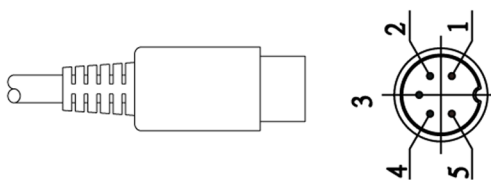
1.1) AMP (D-Sub 9Pin):

Pin	Signal
2	Data
7	GND
9	+5VCC



1.2) Din 5 male (240 degree):

Pin	Signal
1	+ 5Vcc
2	Data
3	GND
4	N/A
5	N/A

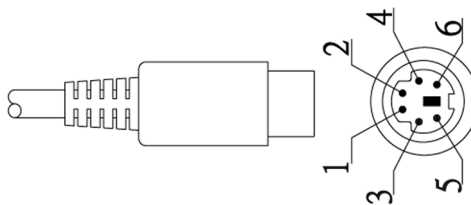


2. キーボードインターフェース

Type of connector:

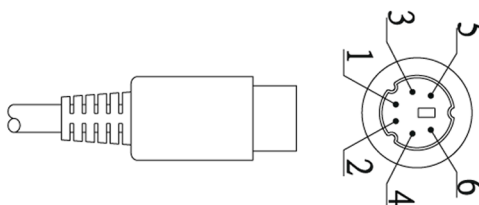
2.1) PS/2 Mini Din6 Female:

Pin	Signal
1	PC Data
2	NC
3	GND
4	+5Vcc
5	PC-Clk
6	NC



2.2) PS/2 Mini Din6 Male:

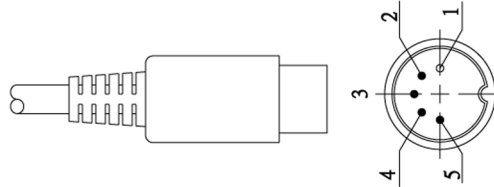
Pin	Signal
1	KB- Data
2	NC
3	GND
4	+5Vcc
5	KB-CLK
6	NC



コネクタのタイプ

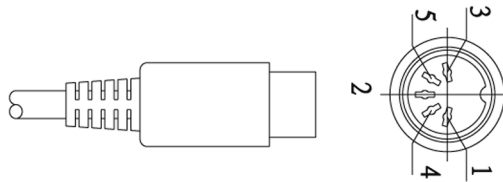
2.3) PC-AT : Din 5 Male :

Pin	Signal
1	KB-Clk
2	KB-Data
3	NC
4	GND
5	+5VCC



2.4) PC-AT : Din 5 Female

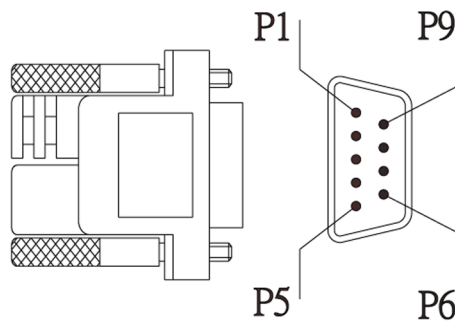
Pin	Signal
1	PC-Clk
2	PC-Data
3	NC
4	GND
5	+5VCC



3. RS232Cインターフェース:

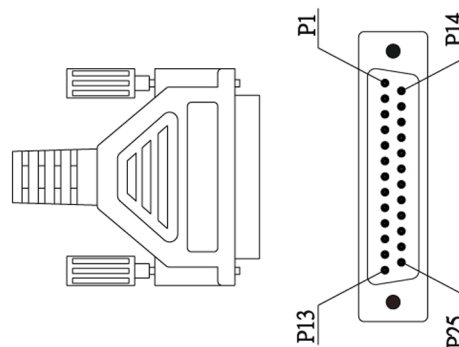
3.1) DB9F

Pin	Signal
2	TXD(Out)
3	RXD(In)
5	GND
7	CTS(In)
8	RTS(Out)
9	+5Vcc



3.2) DB25F

Pin	Signal
2	RXD (In)
3	TXD (out)
4	CTS (In)
5	RTS (Out)
7	GND
16	+5VCC
25	+5VCC



APPEINDIX 3

バーコードテストチャート

DENSITY	NARROW mm(mil)	WIDE mm(mil)	CHAR.GAP mm(mil)	N/W RATIO
MEDIUM DENSITY	0.25(10)	0.625(25)	0.25(10)	1/2.5

MEDIUM DENSITY

NW-7
(CODABAR)



B-\$/+.+00123B

CODE-39



CODE-39 TES

Interleaved
2of5



9876543210

UPC



0 6
31323 12078

EAN



4 712567 014012

APPEINDIX 3
バーコードテストチャート

LOW DENSITY



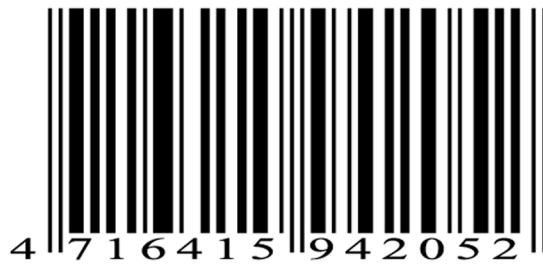
C9876543210D



CODE-39 TEST



0012345690



4 7 1 6 4 1 5 9 4 2 0 5 2



0 7 1 5 8 9 8 1 2 3 0 8

APPEINDIX 4

特殊設定コード表

.A021\$



For PC-AT

- (a) Preamble: @
- (b) Postamble:
Ctrl_make+CR+LF
+Ctrl_break
- (c) Enable Code 39
and Code 128

.A022\$



For Mac

- (a) Preamble: @
- (b) Postamble:
(Numeric Pad) Enter
- (c) Enable Code 39
and Code 128

.A023\$

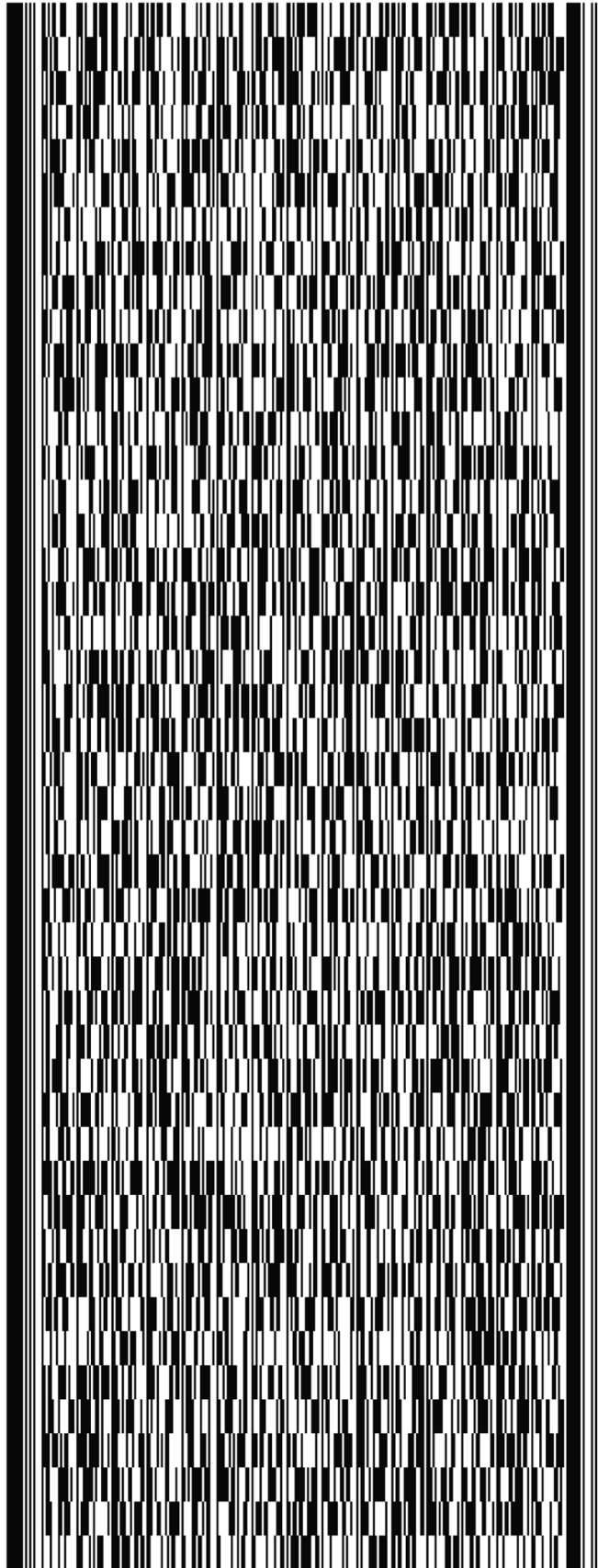


- (a) Preamble: @
- (b) Postamble:
Ctrl_make + Enter
(Key Code:00 28)
+Ctrl_break
+LF(key code:01 0D)
- (c) Enable Code 39
and Code 128

APPEINDIX 5

PDF417 デモチャート

LV8:



ID TECH

10721 Walker Street
Cypress, California 90630
(714)761-6368
<http://www.idtechproducts.com>